

「不自由さから学ぶ！」

富士のさと

防災・減災 キャンプ



非常食/火おこし/災害用トイレ/土嚢づくり/避難所設置/炊き出し/避難所生活 (避難所想定テント泊)

R5, 1/21 (土) ▶ 22 (日) [1泊2日屋内テント泊]



★自衛隊もやってくる

- 【対象】 小学4～6年生 24名程度
- 【参加費】 3,000円 (食事4食分、シーツ洗濯料、保険料、雑費等)
- 【会場】 国立中央青少年交流の家 ※詳細については、裏面をご覧ください。



【申込】 令和4年12月1日(木)～令和4年12月23日(金)

右のQRコードよりお申込みください。

※QRコードが読み取れない場合は、国立中央青少年交流の家までご連絡ください。

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

その場合の抽選結果につきましては、12月28日(水)までにメールにてご連絡させていただきます。なお、参加決定者については、後日2次案内をメールにて送信いたしますので受信をご確認ください。



《お問合せ》

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家
 〒412-0006 静岡県御殿場市中畑 2092-5
 【TEL】(0550) 89-2020 【FAX】(0550) 89-2025
 【MAIL】 fujinosato-kss@niye.go.jp 【担当】 小津、宮崎、渡邊



4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう
11 日本銀行から まちづくりを	17 パートナーシップで 目標を達成しよう

～ ご案内 ～

1. 趣旨

防災・減災について、自分ごととして捉え、“自助”“共助”に関して深く考える機会にするとともに、災害救助の第一線で活動する自衛隊に触れ、“公助”についても学ぶ機会とする。2日間の体験活動を通して不自由さを体感するとともに、避難所体験を経験することで被災者と支援者の両面を学ぶ場とする。そして、防災・減災の大切さに気づき、日常生活の中で役立てられるようにする。

2. 日程

	9:30	10:00	11:00	12:30		16:00	18:00	19:00	20:00	21:00
1日目	受付	開講式	アイスブレイク	非常食体験	体験①（自衛隊）	体験②	非常食体験	準備	振り返り	就寝
2日目	6:30	7:30	8:30	9:00	10:00	12:30	14:30	15:00		
	起床	準備	非常食体験	片付け	体験③	炊き出し体験	講話、ワークショップ	閉講式		

体験① 自衛隊講話及び車両・装備品等の紹介、土嚢づくり体験
 体験② 災害用トイレ体験、避難所設置体験
 体験③ 火おこし体験

3. 持ち物

□参加費 □筆記用具 □動きやすい服装 □運動靴 □帽子 □着替え □防寒着 □タオル □マスク □雨具(カップ) □懐中電灯 □手袋(軍手) □常備薬(参加者自身で服用できるもの)
 ※受診が必要な場合、保険証をご持参のうえ、迎えに来ていただく場合があります。
 ※動きやすく、汚れてもいい服装・帽子・運動靴が適しています。
 ※標高707mのため、平地よりもさらに冷え込みます。就寝時は屋内テント泊となりますので、必ず防寒着を用意してください。

4. その他

- (1) キャンプ中の食事は野外炊事や非常食の配給となるため、**食物アレルギーの対応ができない場合があるため**、事前にご相談ください。
- (2) キャンプの詳細については、参加決定後（1月初旬）にご案内します。今回のキャンプは避難所生活体験の観点から水の使用を制限し、入浴及び歯磨きについては行いません。その代わりに専用のシートを用いて対応します。
- (3) 教育事業中に体調不良となった場合は、ご帰宅いただくこともありますのでご理解とご協力をお願いします。
- (4) 天候や新型コロナウイルス感染等の拡大状況により、事業の中止または活動内容等が変更となる場合もございます。予めご承知おきください。
- (5) 参加決定後、開催日まで1週間を経過してからのキャンセルについては、キャンセル料として食事代を請求する場合がございます。
- (6) 新型コロナウイルス感染拡大防止について（下記枠内参照）

当事業は、「教育事業編：新型コロナウイルス感染防止ガイドライン」（当施設HPに掲載・右QRコード）に則って運営いたします。
 必ず、ご一読いただき、ご理解いただいた上でお申込みください。



2015年の国連サミットで、全員同じ意見で決められた2030年までの国際目標「これからにつながる開発目標（SDGs）」の達成をめざし、国立中央青少年交流の家は進んで推進活動に取り組んでいきます。

